

議会報告会実施報告書

開催日時	2018年5月18日 19:00～	開催会場	兼山地区センター
出席議員	川上文浩、勝野正規、亀谷 光、富田牧子、中村 悟、 山根一男、酒井正司、板津博之、高木将延、田原理香		
班長	高木将延		
参加者数	24名		
実施内容	議会のトピラにより平成30年度予算審査報告及び意見交換会		
質疑および 主な意見等	<p>< 1グループ > 報告者 <u>酒井正司</u> 記録者 <u>板津博之</u></p> <p>テーマ「議員の定数と報酬について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひと月の議員の実働日数は何日なのか。定例会中でも月に8日しか出なくていいそうだが、それで月額40万円という報酬は多すぎるのでは。 ・定数を減らして、報酬を増やせばいいのでは。 ・報酬を増やせばいい人材が議員になるとは限らないのでは。 ・市の財政状況から見て、定数・報酬については現状維持でいいと思う。 ・議員は兼業でも出来るので、報酬を低くして定数を増やすのであればいいと思う。 ・現在の活動で月額40万円はもらい過ぎではないか。 <p>『総務企画委員会所管分』 東美濃ナンバーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兼山ではアンケートに答えたという人がほとんどいなかったが、可児市では何人くらいがアンケートに答えたのか。 ・可児市議会は東美濃ナンバー実現協議会から脱退し、30年度予算で協議会の負担金を削除し、観光費を増額した経緯などについて説明し、賛同していただいた。 <p>都市計画税の用途について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画税は兼山地区にも使われているのか、との質問があり、都市計画税にかかわらず他の税収についても一旦ひとつの財布に入るので、どの税金がどこに使われたのかはわからない、と回答させていただいた。 <p>『建設市民委員会所管分』 観光振興について</p>		

- ・蘭丸ふるりの森で働いているが、大人は楽しめる施設となっているが、子供用の遊具が少ないので市の方で整備をしてもらいたい。
- ・観光交流館がオープンし、6月には戦国山城ミュージアムがオープンするが、市内外から家族連れで来館できるような受入れ体制を整えてもらいたい。
- ・観光交流館の鑑は誰でも無料で着られるのか。市外から来る人にも分かりやすいようにPRした方がよい。
- ・市外から来られた人に対して城山～町中への動線が分かりにくいので、小さな案内看板を各所に設置するなどして観光客を城山から観光交流館等へ誘導出来るようにしてもらいたい。
- ・魚屋町側にも案内看板が欲しい。
- ・車だけでなく歩いて周遊される方もみえるので、目的地までの方角や距離が分かるように細かく案内看板を設置してもらいたい。
- ・「ひがしみのの山城」スタンプラリーでは美濃金山城を含め、三山城が取り上げられた。苗木城跡は石垣などが整備されてきれいになっているが、金山城は見劣りするるので石垣を復元するなどして誘客増へつなげられないか。
- ・美濃金山城下ぶらり歩き（竹あかりアート）の時に使われていた石垣をもっとアピールして欲しい（民地？）

駅前広場について

- ・もうすぐウォークラリー大会があるが、駅前広場の草がうっそうとしていてみっともないので草刈りをしてもらいたい。 連合会長から、可児市との契約の関係で現在保留中との説明があった。

『教育福祉委員会所管分』

小学校区の選択制度について

- ・兼山小学校は小規模校ではあるが、金管バンドなどの特色ある活動をしている。今後、可児市でも小規模校は児童数が減少するばかりなので、大規模校区の子どもでも特徴のある小規模校へ通学出来るように校区を選択制としてはどうか。

『その他』

- ・東濃信用金庫跡地の有効利用をもらいたい。

テーマ「議員の定数と報酬について」

- ・自治連から、20名と要望があるが、議員はどう考えているのか。
- ・議員は、生活業としてやっているか、多少ボランティアでやっているかどちらなのか。生活業では困る。如何に力を入れて、やりがいをもって成果をあげてもらわないと。
- ・ボーナスを貰っているのに、給料を提示するだけはおかしい。年収を書くべきだ。都合のいい数字である。
- ・女性議員が少ない。女性議員の定数を設けては。
- ・若い議員を引っ張り混む努力をしてほしい。

『総務企画委員会所管分』

「人口減少について」1800人から1300人に。

- ・大変深刻な問題である。兼山に暮らす身になって考えてほしい。
- ・児童を増やす対策、家賃補助するなど具体的に進めていってほしい。
- ・後継ぎがない。さびれていくばかり。
- ・不便になるばかり。
- ・兼山は働き場所もない。自分たちで出来ることを考えないといけない。
- ・議員は、兼山の人口減少を知っているのか。兼山選出の議員はいない。もっと兼山のことを考えて欲しい。

『建設市民委員会所管分』

「空き家問題について」

- ・空き家は増えるばかり、今からどうしていくか考えることが大事。
- ・大学生に安く貸せないか。
- ・兼山地区の空き家について調査はしてあるのか。情報は来ていない。

「様々な行事について」

- ・灯りアートや夏祭りなど、中学生や高校生が参加して貰って楽しくやっていきたい。

「地区センターについて」

- ・前回議会報告会で、地区センターについて意見を言ったがどう反映されたのか。全く見えてこない。

『教育福祉委員会所管分』

「兼山の歴史について」

- ・以前は武者行列もあった。兼山は歴史があるところ。もっと活用できないだろうか。

テーマ 「議員の定数と報酬について」

- ・なぜ部長級と比べての報酬額なのか。
- ・民間も給料が上がっているの、少し上げてよい。議員報酬は少ないと思う。
- ・行動に伴う報酬となっているのか。若手育成が大切。
- ・兼山は議員がいない。何とか出せないか。議会ではだれが兼山を担当してくれるのか。
- ・議員に年金がないのはかわいそう。

『総務企画委員会所管分』

「東美濃ナンバーと観光について」

- ・可児で美濃はなじまないが、予算を削ってどうなるのか。
- ・協議会から可児市だけ離脱してしまったが、他地域との連携はどうするのか。
- ・兼山は観光化を図っていく必要がある。
- ・今、岩村は「半分青い」のロケ地としてすごい人気である。再来年のNHK大河は明智光秀なので、今から準備する必要がある。
- ・これまで[兼山プラザ]「兼山資料館」などと[兼山]を冠していたのに、4月から「可児市観光交流館」「可児市山城ミュージアム」となり、兼山の名前がなくなったのは、どうしてか。
- ・観光交流館は場所が分かりにくく、間違えて地区センターに来る人がある。
- ・また、これまでの資料がお蔵入りして、人に見てもらえなくなった。

「防災について」

- ・災害があった時に、帰ってこられるのか、情報がない。すぐメール可児に登録されるように勧めた。

『建設市民委員会所管分』

「可児駅東区画整理事業について」

- ・駅前可児市の顔であるべきなのに、ロータリーが不便で、イメージが悪い。都市計画はどうなっているのか。

『教育福祉委員会所管分』

「マーノについて」

- ・図書館の機能はないのか。多治見や美濃加茂東にはよい図書館がある。
- ・お年寄りも使えるというイメージを打ち出すべきでは。子育て支援に限定されている。

< 4グループ > 報告者 亀谷光 記録者 中村悟

テーマ 「議員の定数と報酬について」

- ・ 議員報酬だけで食べていけるかと言う意味では、少ないと思う。ただし、どれだけ働いているかが問題。
- ・ 議員は公僕。職業化するのは疑問。平均的であればいい。
- ・ そもそもなぜ検討しているのか。どんな課題があるのか。明確でない。
- ・ 議会でなく議員はどんな活動をしているのか。

『総務企画委員会所管分』

- ・ 東信跡地の今後の利用計画はどうなっているのか。
- ・ 合併特例債をもっと兼山に使ってほしい。
- ・ 観光をPRしている。空き家を観光客の宿泊施設にしたらどうか。
- ・ 里芋を使ったラーメンなど特産品を売り出したらどうか。

『建設市民委員会所管分』

「空き家対策について」

- ・ 以前調査中と言う説明をうけたが、家が崩れかけているなど酷い状況だ。
早急な対応をしてほしい。

『教育福祉委員会所管分』

「小学校の生徒数の減少について」

- ・ どんな方法でもいいので生徒数を増やす対策を取ってほしい。

『その他』

「体育室の床改修について」

- ・ 前回議員から提案された床の改修についてその後報告がない。

「その他」

- ・ 以前意見を述べようとしたら、個人意見か？多数の意見か？団体の意見しか聞かないと言われた。
- ・ 議員の皆さんは、当選後何回兼山に来た？住民と話したことは？
予算説明を聞いても兼山の住民には現実味がない。住民の意見を市政に反映させるのが議員の仕事じゃないのか。

平成 30 年 5 月 25 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 兼山地区センター会場 班長 高木将延